

# 【プログラム1:話して!聞いて!】

## すごろくトーク versionB)

☆ねらい:すごろくを使って自分を紹介し合うことを通して、お互いを知りつな  
がりを深める。また、子育てに対する気持ちを共有する。

### 《プログラムの概要》

キーワードの例	コミュニケーション
時 間	25分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ(1グループの人数は4~5人)
準備物	サイコロ、すごろくシート(それぞれグループ数)、 コマ(人数分)、付箋(1グループ4枚)
主な活動	①すごろくを使って自己紹介をする。 ②感想や印象に残った発言等を、他のグループの人に紹介 する。
気を付けること	○「可能な範囲で話すとよいこと」、「話せないときは、『パ ス』をしてもよいこと」を話し、安心感を持って参加し てもらうようにする。 ○全員が同じ条件で話せるようにする。(1回の話す時間 を約30秒程度等決めた方がよい。)
まとめについて	○展開例に示しているポイントは、本プログラムにおける 例である。進行役が自身の体験や経験から感じているこ とを付け加えたり、例示してあるポイントから取捨選択 したりして参加者に伝えるようにする。 ○例示のポイントを押し付けないように心がける。 ○参加者に分かりやすい言葉で伝えるように心がける。
備 考	○書く活動はないので、座談会形式でもできる。 ○グループの人数が多いとすごろくを一回りするのに時間 を要するが、話し手にとっては聴いている人数が多くな るので、聴いてもらったという満足感がある。講座の時 間、参加者の人数等を考慮して考えるとよい。 ○相手を見る、うなづく、微笑む、あいづちを打つ等は、 聴き手にとって大事な動作なので、アイスブレイクで取 り入れると、講座がよりスムーズに進行できる。

# 【プログラム1：話して！聞いて！すごろくトーク

version B】〔25分〕

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。【1分】</p> <p>[キーワード] <span style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 2px;">○コミュニケーション</span></p>
22分	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>グループ</p> <p>グループ</p> <p>全体</p>	<p>2. すごろくを使って自己紹介をする。【19分】</p> <p>(1) 方法を知る。(1分)</p> <p>サイコロの出た目の数だけすごろくを進め、止まった場所の話題を話す。</p> <p>(2) 注意事項を確認する。(1分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○可能な範囲で話す。</li> <li>○場合によっては、「パス」をしてもよい。</li> <li>○1人の話が長すぎないようにする。(1回の発言は30秒以内等)</li> <li>○誰かが話しているときは、しっかり聴く。 (相手を見る、うなずく、微笑む、あいづちを打つ等)</li> <li>○誰かが話し終わったら、拍手をする。</li> <li>○参加者のプライバシーに関わるものは、勝手に他の人に話さない。</li> </ul> </div> <p>(3) すごろくシートのオリジナル話題コーナーを考える。(5分)</p> <p>グループの人に聞きたいことを考え、付箋に書き、すごろくシートに貼る。</p> <p>(4) グループごとに始める。(12分)</p> <p>※活動の時間を決め、その時間で進んだ所までとする。</p> <p>3. 感想や印象に残った発言を他のグループにも紹介する。【3分】</p>
2分	全体	<p>4. まとめを話す。【2分】</p> <p>[ポイント]</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなことを紹介し合うことで、お互いが身近に感じられるようになったのではないかな。</li> <li>・同世代の子どもを持つ親は喜びも悩みも共有できるので、一人で抱え込まないことが大事である。これを機に、お互いのつながりを深めてほしい。</li> </ul> </div>

〔 活 動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備 考 〕

1. ねらいの  
確認

○今日は、「コミュニケーション」をキーワードに  
講座を進めていきたいと思ひます。

・キーワード  
を提示する。

2. すごろくト  
ークをする

○みなさんは、すごろくをしたことがありますか。  
今日は、久しぶりにすごろくで楽しみましよう。  
まず、自分のコマの色と順番を決めてください。  
みなさん、スタート地点から始めます。サイコロ  
を振り、出た目の数だけ進めます。止まったとこ  
ろの話題を話してください。

・すごろくを経  
験したことが  
ない参加者も  
いるので、や  
り方は必ず説  
明する。

(注意事項の確認)

○すごろくトークをする時に、気を付けていただき  
たいことを話します。話題は話せる範囲で話して  
ください。場合によっては、「パス」をしても構  
いません。

○1人の話は30秒以内にする等、長すぎないように  
してください。

○誰かが話をしているときは、話し手を見たり、あ  
いづちを打ったりする等、しっかり聴いてくださ  
い。また、話し終わったら拍手をして盛り上げま  
しよう。

○最後に、参加者のみなさんのプライバシーに関わ  
るものもありますので、聞いた話は、他の人に話  
さず、この会の中だけに留めてください。  
それでは、グループごとに始めてください。

・注意事項を伝  
えることは大  
事だが、あま  
りにも時間を  
かけすぎない  
ように気を付  
ける。

○このすぐろくトークの所々に、「オリジナル話題コーナー」と記してあるところがあります。そこは、グループの人に聴きたいことを質問するコーナーです。グループでどんな話題にするか考えてください。考えた話題は、付箋に書き、すぐろくシートに貼ってください。  
準備ができたグループから始めてください。

・聴きたい話題を直接すぐろくシートに記入することもできるが、1回きりのシートになる。

### 3. 感想等の紹介

○まだ話している途中だと思いますが、すぐろくトークをした感想や印象に残った発言等を紹介してください。  
(時間があればグループの意見を多く紹介する。)  
○どうでしたか。いろいろな意見を聞いて参考になりましたか。

・特に、全体に紹介したい発言等があれば進行役が全体に紹介してもよい。

### 4. まとめ

○すぐろくトークで、いろいろなことを紹介し合うことで、始める前よりグループの人のことを身近に感じられるようになったのではないのでしょうか。  
○同世代の子どもを持つ親は、喜びも悩みも共有できるので、心配なこと等は一人で抱え込まないことが大切です。今日のこの講座をきっかけに、お互いのつながりを深めてほしいと思います。

・声の大きさや早さ、表情等に気を付けながら話す。

# スタート

※始める前に簡単な自己紹介をを！



子どものことを自慢しよう！

好きなことや好きなものを2つ紹介しよう！

## ★オリジナル話題コーナー

あなたが幸せと感ずるときは？

今、(時間等の余裕があつて)一番やりたいことは？

あなたの今の楽しみは

家族に言いたいことは？

ストレス発散法は？

子どものことば悩んだらどうする？

あなたが言われてうれしい言葉は？

子育てで気になることは？

## ★オリジナル話題コーナー

今、頑張っていることは？

どんなことば子どもを叱った？

子どものことば嬉しかったことばほめたことばは？

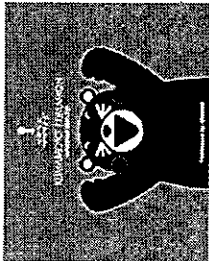
※話せる範囲で話してください。  
※聞いたことは、この会の中だけに留めておいてください。

最近、嬉しかったことは？

どんな子どもに育ててほしい？  
または、自分のどんなところが似てほしい？

# ゴール

乳幼児の保護者向け



## ★オリジナル話題コーナー